

新聞づくりを通して海と島でできた日本を学ぼう！



うみやまかわ新聞 2015

6,852島からなる島国・日本には、多様な「海」「山」「川」があり、
歴史や文化を育んできた「水のつながり」があります。

『うみやまかわ新聞』は、全国各地の小学生がうみ・やま・かわをテーマにした新聞づくりを通して、
海と島でできた日本を多面的な角度から考え、学ぶ取り組み。2015度は全国12地域で実施しています。

実施地域のご紹介

[全国12ヵ所(小学校:10校/地域:2地域)]

地域導入 実施学年:1~6年生

りしりとう 【利尻島/北海道】

日本の北端にある利尻島は「利尻こんぶ」をはじめウニやアワビなどの海産物が獲れる島。島の中央には1,721mの利尻富士がそびえ、多様な生物が暮らす山や沼があります。

人口 4,968人
(H27.6月末/利尻町・利尻富士町合計)
面積 182.19km²

江戸川区立二之江第三小学校 実施学年:6年生

にのえ 【江戸川区・二之江/東京都】

江戸川区は、区民1人あたりの公園面積が23区内で最も広い、東京23区内最東端の自治体。江戸時代に塩を運ぶために整備された新川など、河川に囲まれた地域です。

人口 684,723人
(H27.7月1日/江戸川区)
面積 49.09km²

いすみ市立太東小学校 実施学年:6年生

【いすみ市/千葉県】

千葉県の南東部に位置し、温暖な気候と肥沃な耕地に恵まれた田園都市。市の東側は太平洋に面していて、イセエビやタコなど水産物が豊富で、アオウミガメの保護活動なども行われています。

人口 40,268人
(H27.6月末/いすみ市)
面積 157.44km²

富津市立金谷小学校 実施学年:4・5年生

ふつつし 【富津市/千葉県】

房総半島の中西部、東京湾側に位置する富津市。江戸時代から金谷石が採掘されていた鋸山や、関東の天の橋立といわれ南房総国立公園にも指定されている富津岬などがあります。

人口 45,579人
(H27.7月1日/富津市)
面積 205.53km²

北杜市立高根西小学校 実施学年:5年生

ほくとし 【北杜市/山梨県】

山梨県の総面積の13.5%を占める北杜市は、八ヶ岳連峰や南アルプスなどの山々に囲まれ、市内3ヵ所で日本名水百選が認定されているなど、水資源が豊富な名水の里と呼ばれています。

人口 48,214人
(H27.7月1日/北杜市)
面積 602.48km²

地域導入 実施学年:5・6年生

きそまち 【木曾町/長野県】

長野県南西部にある木曾町は、総面積の90%を山林が占める山間の町。かつては日本四大関所の一つ、福島関所があり政治・経済の中心だった福島宿など、11の宿が置かれた中山道の宿場町でした。

人口 12,023人
(H27.7月1日/木曾町)
面積 476.03km²

姫路市立家島小学校 実施学年:5年生

ひめじし いえしま 【姫路市・家島/兵庫県】

播磨灘に浮かぶ家島は、兵庫県南西部に位置する島。大小40あまりの島で構成される家島諸島のなかで、人が暮らしている4島(家島・坊勢島・男鹿島・西島)のうちの一つです。

人口 3,355人
(H22年度国勢調査/家島)
面積 5.46km²

上島町立弓削小学校 実施学年:6年生

かみしまちょう ゆげしま 【上島町・弓削島/愛媛県】

瀬戸内海の中央に位置する弓削島は、岩城島、生名島、魚島などからなる上島町に属する島。島には商船高等専門学校があり船乗りが多く「造船」が盛んな島です。

人口 7,398人
(H27.6月30日/上島町)
面積 8.68km²(上島町全体では30.42km²)

佐川町立尾川小学校 実施学年:5・6年生

さかわちょう おがわちく 【佐川町・尾川地区/高知県】

高知県の中西部、仁淀川の支流の一つ、柳瀬川沿いにある佐川町。江戸時代から教育に力を入れて、郷校・名教館を創設するなど、文武両道を推奨してきた文教のまちとされています。

人口 13,507人
(H27.7月1日/佐川町)
面積 101.21km²

日田市立津江小中学校 実施学年:6年生

ひたし つえちいき 【日田市・津江地域※/大分県】

九州北部の中央に位置する日田市の山間地域。しいたけやゆずの栽培が盛んで、地域内には貴重な原生林が残り、有明海にそそぐ筑後川の源流として美しい水が湧き出しています。

※津江地域として中津江地域、上津江地域を対象に実施
人口 1,785人(上津江町:892人/中津江村:893人)
(H27.3月31日 上津江町・中津江村自治会合計)
面積 170.44km²(上津江町:88.53km²/中津江村:81.91km²/日田市全体では666.19km²)

うるま市立津堅幼小中学校 実施学年:3・4・5・6年生

つけんじま 【うるま市・津堅島/沖縄県】

標高39mのほぼ平坦な津堅島は、中央部のほとんどこが人参畑で、別名「キャロットアイランド」とも呼ばれています。周囲約7kmを海に囲まれた島は、魚介類も豊富に水揚げされます。

人口 474人
(H27.6月30日 津堅島)
面積 1.88km²

対馬市立豊小学校 実施学年:5・6年生

つしまし 【対馬市/長崎県】

対馬市は韓国までわずか49.5kmで、日本の九州本土福岡まで約130kmという国境の島。島の大部分が壱岐対馬国立公園に指定されており、ツシマヤマネコをはじめ、特有の動植物が存在しています。

人口 32,640人
(H27.6月30日 対馬市)
面積 708.66km²



小学校高学年向けの総合学習プログラムです

『うみやまかわ新聞』は小学校高学年を対象にした教育プログラム。
地域学習・キャリア教育としても最適な総合学習プログラムとして、各地域の教育機関・団体・民間コーディネーターの協力のもと、
離島経済新聞社のスタッフなど、プロの編集者を講師に、子どもたちが新聞づくりを実践。
同じプログラムを導入する他地域とも交流ができるため、同級生の少ない小規模学校では、子どもたちの交流体験としても喜ばれています。

何が学べるの？

— うみやまかわ新聞を通して得られる6つの学び —

1

多面的・総合的に ものごとを見て、考える力

社会を多面的に捉える「新聞」をつくる過程で、
ものごとをさまざまな角度から総合的に見る力
(広い視点)や考える力を養うことができます。



2

自然や人とのつながりを 尊重する心

身近にある自然(海・山・川)と他地域の自然
を比べることで、自然や人とのつながりを尊重
する心を育むことができます。



3

地域や国に対する 愛着と誇りの育成

プログラムに参加する他地域との交流を通して
「他を知り自己を知る」ことで、地域や国に対す
る愛着と誇りを育むことができます。



4

他者と協力する コミュニケーション経験

一緒に新聞をつくるチーム、他地域の生徒、
講師陣、地域の大人といったさまざまな他者と
協力しながら新聞づくりを進める経験により、
コミュニケーション力を養うことができます。



5

ICTを活用したプロジェクトを 実践する経験

パソコン、タブレット、テレビ電話などの情報ツ
ールを使用し、ICTを活用したプロジェクトに参
加・実践することで、専門的な経験や知識を
養うことができます。



6

情報の基本知識 (メディアリテラシー)

情報メディアの基礎である「新聞」づくりをプロ
に学ぶことで、社会のなかでどのように情報が
つくられ伝わっていくかという「情報の基本知
識」を得ることができます。



導入校の先生・地域コーディネーターの声

画面越しの先生にまじまじと
見入り、遠くの小学生の自己紹介
にじっくりと聞き入る。ときどき集中力が
切れてしまうこともあるけれど、教室全体
がフツ!とすごい勢いでまとまる時もある。
そんな子どもたちの時間はいつも新鮮。
これから子どもならではののみずみずし
い言葉が生まれる瞬間を見届
けるのが楽しみです。

高知県佐川町立尾川小学校

地域コーディネーター 磯木淳寛さん

テレビ電話会議がとても新
鮮で、子どもたちはみんな喜んで
授業に臨んでいます。また新聞記事作
成に向けての体験活動がとても楽しく、
自分たちが生まれ育った地域を見直すよ
い機会となっています。2学期は遠く離
れた他の学校と交流するテレビ電
話会議を使った授業を待ち遠
しく思っています。

岩手県涌川町立涌川小学校

井澤泉さん 橋村先生・大西先生・松本先生

新聞づくりを通して子どもたち
に期待することが2つある。1つは、
島の自然・伝統文化・島民の生き方等
から、自ら課題を見つけて調べ学習を行う
過程で、郷土を愛する心を育ててほしいこ
と。もう1つは、他県の児童との交流を通
じてコミュニケーション能力を高めてほ
しいことだ。今後の学習展開が
非常に楽しみである。

岩手県涌川町立涌川小学校

井澤泉さん 佐久本先生

『うみやまかわ新聞』の導入希望やプログラム詳細は、公式ホームページをご覧ください。

新聞づくりを通して海と島でできた日本を学ぼう！

『うみやまかわ新聞』公式ホームページ www.umiyamakawashinbun.net

「日本財団海洋教育促進プロジェクト 海と地域のつながりを見つける『うみやまかわ新聞』の制作事業」

